

カンガルーシップ活動 ネイバーサポートプロジェクト 実施報告書

報告日	平成 28 年 2 月 25 日
学校名	筑波大学附属大塚特別支援学校
PTA会長名	戸栗 倫子

実施概要	実施活動名	講演「現代の子どもが抱える心身の発達の課題とインクルーシブな発達支援」
	実施日時	平成 29 年 1 月 23 日
	実施場所	筑波大学東京キャンパス
	実施目的	通常学級に在籍する発達に課題のある生徒に対する理解・支援
	実施内容	講演
	実施方法	筑波大学附属小・中・高、駒場中・高校、お茶の水女子大学附属小、筑波大学附属大塚特別支援学校の保護者等で、通常学級に在籍する発達に課題のある生徒に対する理解を深め、支援について講演を通して考える。
参加人数	66 名	

報告事項	内容	<p>ご自身に発達障害がある神長涼様による講演（60 分）。テーマは「発達障害当事者の抱える困難と課題～生育史の振り返りを通して～」。ご自身の生育と照らし合わせながらその時直面した課題、その時感じたこと等を赤裸々に話される中、高橋先生が学術的なコメントをされる形で講演が進められる。その後、高橋智先生に「子どもは適切な発達支援により顕著に発達します」というテーマで講演（30 分）頂く。高橋先生のアドバイスにより、最後の質疑応答は設けず個別に質問や相談に対応頂いた。</p>
	結果	<p>筑波大学東京キャンパスでの開催は利便性がよく、筑波附属の保護者が集まり易かったようだ。本校大塚特別支援学校の保護者をはじめ、筑波大学附属小・中・高等学校、駒場中・高校、お茶の水女子大学附属小、その他学童スタッフなど合計 66 名の参加者となった。高橋先生の教え子で、東京都自閉症協会勤務の神長涼様にもご参加頂き、ご自身の発達障害についてお話し頂くことは大変興味深く、また高橋先生の学術的なコメントがあり、分かり易く、内容に深みが出たと感じた。アンケート結果は好評で、「良かった」「誰かに伝えたいという」感想が多かった。</p>
	所感	<p>本校でのこの「ネイバーサポート助成金」事業取り組みは、2 回目となる。前年度同様、企画時点では聴講者数が把握しにくいという問題がある。発達障害というテーマは、興味のある方が少数である予想でき、通常学級に通う生徒の保護者が少ないという不安が強かったが、想像以上に色々な附属学校保護者に聴講頂き、障害理解啓蒙活に繋がるよい機会となった。そして、「良かった」という感想が多く寄せられたことは運営側にとって大きな励みになった。生徒だけでなく保護者が学び、理解の必要性を感じる中、とても有意義な企画であった。これからも、このような企画を続け、多くの方に理解してもらいたいと思う。</p>



添付書類

収支決算書・参加者感想

提出日 平成 29 年 2 月 25 日

学校名 筑波大学附属大塚特別支援学校

カンガルーシップ活動 ネイバーサポートプロジェクト 参加感想

- ・神長さんのお話は実体験でとても考えさせられました。ご本人がものすごくご立派だと思います。息子さんを育てていらしたご両親の偉大さには頭が下がる思いです。誰しもがそういう一面をもっていますし、どこから「発達障害」とつながっていくのか切り分けも難しいと思います。折り合いをつけながら互いに思いやりを持って生きてゆきたいと思いました。
- ・とても勇気づけられる内容でどの内容も様々な方に伝えてきたいと思いました。丁寧に地道に併走していきたくと思います。
- ・現代の子どもは不安がいっぱいで自尊心が低かったり、コミュニケーションが困難だったり、何らかの支援を必要としている子供が多いということをお話、先生から伺い、自分も子供への接し方を改めようと思いました。大人も不安でいっぱいな部分もあり、それから子どもへ通じているのかもしれないです。
- ・発達障害だけでなく、今を生きる子供たちの持つ問題があることがよくわかりました。神長さんのお話はとてもよくまとまっていて、発達障害をもつ方の具体的な課題というものをよく理解することができました。困っている人たちに話しかけるといふシンプルなアドバイスが非常に心に残りました。
- ・子育てには常に不安がつきものであると日々感じております。子供にはそれぞれの特性があり、個性もあります。そういった中でわが子の様々な行動を「個性」捉えるか、発達障害としてみるか非常に難しい線引きだと感じておりました。今回のお話を聞いてまずは子供に向き合って話を聞く大切さ、気持ちに寄り添うことによって親子ともども成長していきたいと思いました。
- ・発達障害をよく耳にするのですが、実際に神長さんのお話を聞くことができ一括りにはすることができず、色々なタイプがあることもわかりました。支援の方法にも工夫が必要だと思いました。高橋先生のお話はとても勉強になり、小学生の子供を持つ母親として今日は参加させて頂きとてもよかったと思います。このような機会があり、ありがたいことだと思いました。ありがとうございました。
- ・周りの人々の理解の必要性を感じます。おしつけでない伝え方の難しさを感じます。障がい者という枠組にいる私の子供に対しても努力の必要性を感じます。少しのお手伝いがあれば「できる」という理解、相互理解をどう進めていくか？悩みます。まずは子供の話を書きしてみます
- ・神長さんのお話、実体験を通して感じられた内容とてもユーモアもあり、楽しくきかせて頂きありがとうございました。もっと長い時間お話を聞いていたかったです。障害をお持ちであるとはとても思えない素晴らしい表現力に感動しました。とても日々努力されている様子（特にノートを作られている点）は心を動かされました。高橋先生のお話はコアな障害でない障害をもつ子供たちという言い方もよらない現状に驚きを覚えました。
- ・本人に責任のないことによって、様々な困難を受けてしまう子供たちをきちんと受け止め、「安心と信頼」を与えていけるような社会を作っていくことが大切（必要）だと思いました。子供（本人）の声をきちんと聴く大切さ、心のゆとり（時間）を持つことが子供の負担を軽減できることがわかりました。
- ・発達障害である神長さん本人のお話を伺いとても前向きな姿勢に感動致しました。神長さんを取り巻く環境、保護者の支援があってこそ今だと思われれます。障害を持たない子供の子育てですからいつも何か追われているような余裕のない日々です。他者を認め合う心子供にも持って育ててほしいです。ぜひ、筑附小に先生と障害を持つ子どもたちをお招きし、交流の場を持ってもらいたいと思いました。
- ・障害支援の仕事をしております。大人の発達障害の方々の生きづらさを多く目にする中で、神長さんのように信頼でき大人に囲まれて成長されたようにほかの多くの発達障害の皆さんが生きやすい社会になることを望んでおります。
- ・神長さんの実体験は親から見た子供、本人（子供）が思う気持ちなど詳しく教えて下さり、考えさせられました。高橋先生の講義は教育者からみて、また支援を受けるものもどうか成長し努力していくべきなのか理解できました。
- ・まさにお聞きしたいスルーされがちな子供についてその対応についてのお話がたくさんお聞きできました。高IQでありながら社会でうまく生活できず、能力が行かせていない子供についてのお話があればまたお聞きしたいです。「勉強ができるからよいではないの」でスルーされてしまい、今までこのようなお話を伺うことがあまりなかった。
- ・とても貴重な話が聞けて良かったです。（特に神永さん）このような企画が継続し、相互理解が深まることを期待します。ビデオをとってYouTubeなどで紹介できたら良いかと思いました。（全附連→全国の公立私立P）支援者としての高橋先生の聴く姿勢やお人柄がよく伝わって大変参考になりました。